

くらよし

January 1
2008

平成 20 年 1 月号

No.1355

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



謹賀新年



CONTENTS

- 新春に寄せて…………… 2
- 帰ってきた逢かなまち倉吉…………… 3
- 平成 18 年度決算／
平成 19 年度上半期予算執行概況…………… 4～7
- 特定健診・特定保健指導…………… 8
- 特別医療費助成制度…………… 9
- 保険料の納付方法…………… 10
- ハート・バリアフリー…………… 11
- 出かけてみよう！…………… 12～13
- インフォメーション…………… 14～19
- レッツ！介護予防…………… 20
- あんしんファイル…………… 21
- 若者の定住化に向けて…………… 22



倉吉市議会議長 段塚 廣文



倉吉市長 長谷川 稔

新春に寄せて

市民に信頼され 開かれた
わかりやすい議会をめざして

明けましておめでとうございませう。今年「新しい年の始めの初春の今降りる雪のいや重け吉事」かの大伴家持の詠んだ歌としてあまりにも名高く、降りしきる雪のように重なる良きことよーの意といわれ、「いや重け吉事」には新しい年に向けた予祝の祈りも込められてもいるといひ、予祝とは「めでたき祝い、祝ったとおりの現実が訪れるよう祈ることと伝えられております。皆さまにはどのような予祝を持って新年を迎えられましたでしょうか。この一年が祝ったとおりの一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、倉吉市は人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」の実現をまちづくりの指針として行政運営を行っているところですが、この間、我が国における社会経済情勢は大きな変革の時期を迎えております。本市においても市民ニーズの高度・多様化への対応が迫られており、中長期的視野に立った計画的かつ安定的な行政運営を行うことが強く求められています。

また、私どもが大きく期待を寄せた地方分権による「三位一体改革」は、財源のあり方を見ると、真の地方自治確立にはほど遠いものであり、未完の改革として地方財政に大きなしかかっています。そのようなことから、私ども議会は引き続き、移譲すべき権限の重点項目、税財政改革における税源配分を強力に国に求めていかねばなりません。

一方、地方分権の推進を契機としたいまを指し、さまざまな取り組みを展開しているところで。しかしながら、本市をめぐる人口減と財政状況の厳しさはとどまることがありません。このような時代の流れの中で、倉吉市はこれまで以上に、市民の皆さまの生活実態に寄り添い、地域課題を共有し、当事者意識を高める中で、子どもたちから高齢者まで全ての世代が安心して日々を過ごし、夢のある楽しいまちを目指し、今後も邁進してまいります。

ふるき風、あたらしき風

新年明けましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。市域での、マチ、里、山間部の生活環境を越えて、各々の地域で特徴と気概をもった自治活動を展開いただいている市民の皆さまに、心よりの新春のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、若者の定住化促進に向けた子育て支援策として多くの皆さまにご協力いただいた「若者子育て買い物物産事業」の開始や家庭で育児に向き合う親御さんに利用いただく「おひさま」の開設により、地域全体での子育ての輪を創出していただきました。また、旧牧田家住宅の保存修理の着手や西町から魚町にかけて江戸から昭和の誇りを見直すきっかけともなりました。

倉吉市では、若者の定住に向けて、「一緒に住まいな」を合言葉として子育てを皆で支える住み続けました。

倉吉市では、若者の定住に向けて、「一緒に住まいな」を合言葉として子育てを皆で支える住み続けました。

副市長に
増井 壽雄さん(60歳)

12月14日(金)、平成19年12月第7回倉吉市議会定例会において、副市長に、建設部長 増井 壽雄さんの任命が同意されました。



【主な経歴】

- 昭和46年5月 倉吉市事務吏員として採用(教育委員会事務局社会教育課)
- 平成元年4月 自治振興課主幹
- 平成8年4月 農林課長
- 平成14年5月 生活環境部長
- 平成15年4月から建設部長(現在建設部長事務取扱)

【ごあいさつ】

12月17日、長谷川市長から副市長選任の辞令交付を受けました増井でございます。今、倉吉市政が直面する懸案事項はさまざまありますが、「だれもが安心して快適に暮らすことができるまちづくり」を目指して力を尽くしていく所存です。

市民の皆さまとの「縁」を大切にしながら、「鉄は熱いうちに打て」をモットーに、職務に励んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

キラ☆リ

倉吉市では、人口減少対策と地域活力の維持・向上を図るため、UJ1ターンの促進に取り組んでいます。そこで、すでに倉吉に移り住んだ皆さんにご意見をいただきました。「住みやすいまちづくり」をもう一度考えてみませんか。

帰ってきた倉吉

遙かなまち



- ①佐々木 まゆみさん
- ②中野
- ③神奈川県厚木市
- ④歌の勉強を続けるため

倉吉に戻って4年になります。私は音楽大学で歌の勉強をしました。私のところは、まだまだ勉強したいことがたくさんあって、それを続けるには一度実家へ戻るのがいいかなという考えがありました。今でももちろんそう思っています。

ところが、学校教育において音楽や体育、美術などの授業が減らされてしまうということを聞きました。

ゆくゆくは私も人々に教えていく立場になっていきたいと思っています。そういう教育の場やそういうものに触れる機会が減ってしまうというのは、大変残念です。そして私たちの働ける所も、少なく厳しくなってしまうことにもなります。こういった面からでも、地元に戻ってきて就職したいと思っている人たちを足踏みさせてしまっていることもあるように感じています。

それでも私の周りにはUターンをして働いている人がたくさんいます。私にできることは限られているかもしれませんが、この倉吉をもっと豊かに、そして素敵なまちにしていきたいな、という思いでこれから頑張っていきたいと思っています。



- ①北窓 ままきさん
- ②福庭町2丁目
- ③東京都大田区
- ④働きたいと思える会社があったから

「変わってないな」倉吉に帰って来た時の第一印象です。田舎を離れて一度都会で暮らしてしまくと都会の華やかさや便利さに慣れてしまいい、なかなか倉吉に帰ってくるのは難しいものです。

ですが、いざ帰ってみると友達との遊びが楽しかったり不自由ない今の生活に生まれ育ったこの町もいいものだなと思うようになりました。

今ではオヤジがやるものだと思っていたゴルフを始め、はまっています。小さいころに比べたくさんの道が整備された他県のゴルフ場に行くのが楽になったのでいろいろな所に行きたいなと思っています。

大学や専門学校がほとんどなく、また働く会社が少ない中で、なかなか自分のやりたいことを見つけないのは難しいですが、自分の将来を考えた時に、この町に暮らそうと思える町づくりをしていただき、「暮らしがいい」「働きがいい」のある市になってもらいたいと思っています。

今後は、たくさんさんのイベントや行事に積極的に参加し、倉吉での生活を子どもたちのころとは違った観点で満喫していきたいと思っています。



- ①野口 敬子さん
- ②宮川町
- ③京都市北区
- ④夫の転勤

高校卒業以来離れていた倉吉に帰ってきました。

倉吉西高等学校で、明るく素直でまじめな生徒たちや、優秀で熱心な同僚の皆さんと楽しく充実した毎日を過ごさせていただいています。

長く京都市内の高等学校に勤務していましたが、環境こそ違いますが、高校生の成長ぶりや持つ課題は京都でも倉吉でも変わらないことを実感しています。倉吉という土地で、のびのびと高校生活を送る生徒たちから学ぶことが多い日々です。

久しぶりの倉吉は、散歩の楽しい街になっていました。かつて毎日通学した玉川沿いや、赤瓦周辺から八橋往来の町並みは格好の散歩道です。玉川に棲む野鳥や鯉に見入ったり、思いがけなく心のこもった手作りのお祭りやイベントに遭遇したり。夜道が暗いのは少し寂しいですが、代わりに満点の星空が楽しめるというのが魅力です。

Uターンとはいえず、久しぶりだからでしょうか、初めて暮らす街のように感じます。何がどこにあるのやら。インターネットでは得られない口コミ情報に敏感になって、倉吉の暮らしを楽しみたいと思っています。

文中の標記

- ①お名前
- ②現住所
- ③前住所
- ④倉吉に住むことになった理由



- ①澤村 博美さん
- ②下大江
- ③東京都武蔵野市
- ④夫が父の仕事を継ぐため

私が6年、夫が8年前に帰郷したのは、倉吉で営んでいた夫の父の会社を継ぐためでした。

それまでの私たち夫婦の東京での生活は充実しており、特にモード界にいた私にとって、東京以外の生活は考えられないものでした。家業と同じ建築業をしていた夫は長男であったため、父の病気を機に帰郷を決心したのですが、東北出身の私は当時のライフスタイルと仕事を失うことが失望的でした。しかし、どんな場所においても自分らしく生きていく方法があるはずだと、見方を変え友人の力を借り、東京を拠点に倉吉で仕事ができるよう努力しました。その準備に2年：帰郷の時が夫と違うのはそのためです。

倉吉で東京と同じような生活をしようとは思っていません。ここでしかできない生活をした方が楽しいのです。今私たちがここで生活できているのは多くの理解者のおかげです。その方々は皆視野が広く、倉吉や鳥取にこだわらず、いつもここから世界に向けて何ができるか考えています。

大それたことではなく、自分らしく、そしてそこに在るものを大切にし、生かす、楽しんでいくただそれだけです。

今世界中で問題になっている自然環境、格差、少子高齢化社会：山に囲まれている小さな街「倉吉」だからこそここから発信できる何かがあるような気がします。

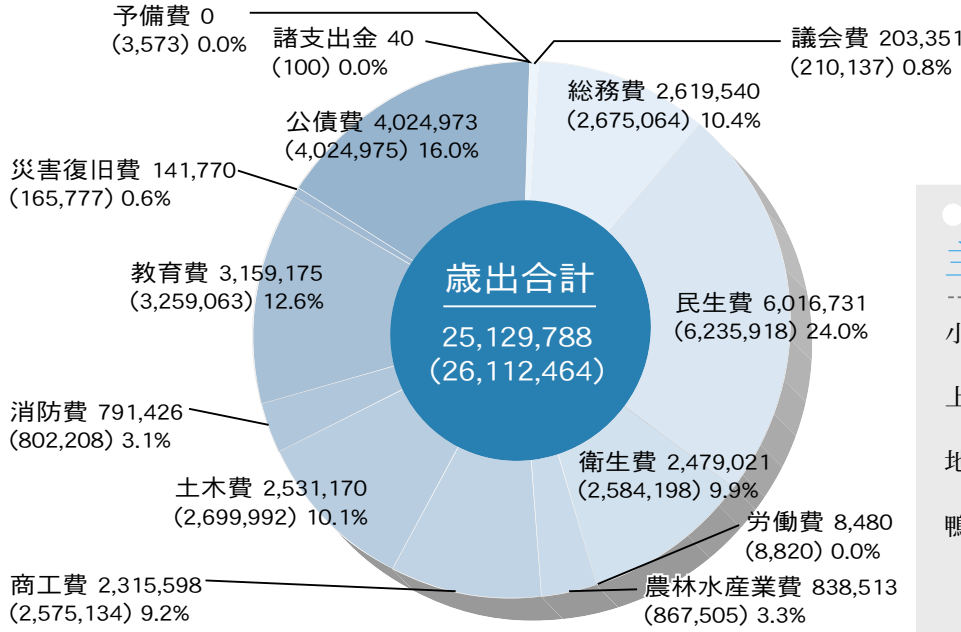
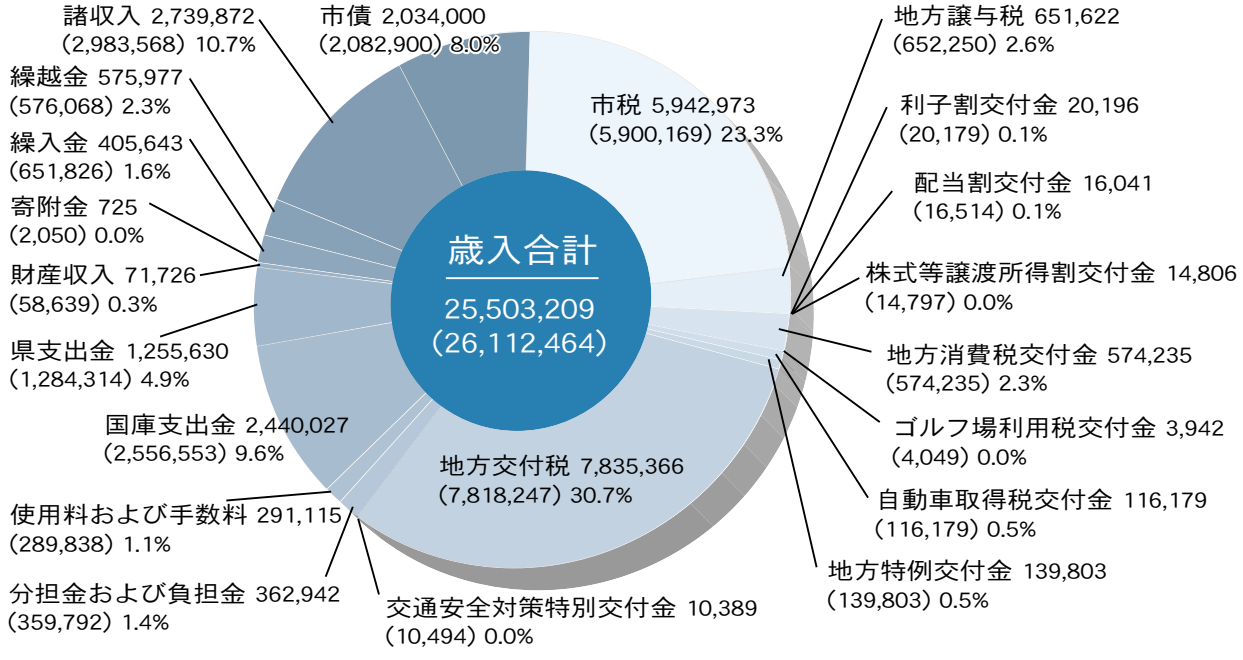
そのために一人ひとりの小さな努力や大きな希望が大切だと感じています。

平成18年度決算の概況

小嶋小学校建築／地方道路交付金事業／上井再開発住宅整備などを実施

一般会計決算

(): 予算額
% : 全体に対する割合 (単位: 千円)

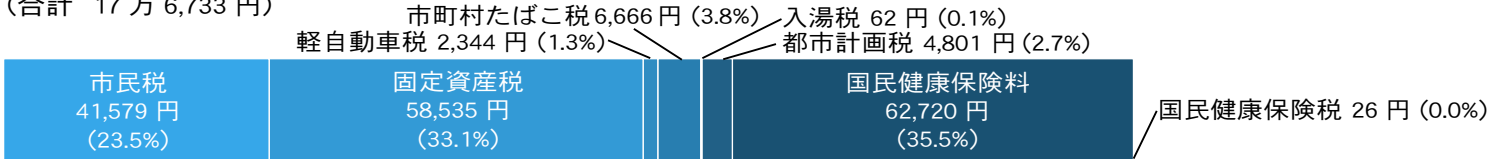


主な事業

- 小嶋小学校建築 9億9,198万円
- 上井再開発住宅整備 2億7,160万円
- 地方道路交付金事業 2億5,500万円
- 鴨川中学校体育館建築 2億2,111万円

市税などの住民一人当たり負担額

(合計 17万6,733円)



*住民基本台帳人口および外国人登録人口 52,212人
被保険者数 20,933人 (平成 19.3.31 現在)

歳入総額は51億5,890万円、歳出総額は50億7,700万円であり、歳入歳出差引

特別会計

国民健康保険事業

決算した主な普通建設事業は、小嶋小学校建築9億9,198万円、上井再開発住宅整備2億7,160万円、地方道路交付金事業2億5,500万円、鴨川中学校体育館建築2億2,111万円などです。

771万円となりました。

入歳出差引は3億7,342万円、また翌年度繰越額は2億5,771万円となりました。

決算額については、歳入総額25億321万円、歳出総額25億2,979万円であり歳入歳出差引は3億7,342万円、また翌年度繰越額は2億5,771万円となりました。

一般会計

平成18年度は新市2年目の決算となりましたが、昨年と同様に合併関連経費は国の合併市町村補助金、県の合併支援交付金を積極的に活用し、また大型事業については合併特例債を充当して事業執行を行いました。また、厳しい財政状況の中ではありますが、第10次倉吉市総合計画の重点課題である「若者の定住化促進」の5重点施策についても、考慮しながら事業を執行しました。

都市計画税の充当割合 (単位：千円)

項	目	決算額
支出	街路費	865,159
	公園費	0
	下水道費	752,281
	土地区画整理費	7,718
	公債費	2,049,217
	合計	3,674,375
収入	特定財源	2,424,946
	都市計画税A	248,415
	一般財源などB	1,001,014
	合計	3,674,375
充当割合	$A / (A + B) \times 100$	19.9

*都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業に必要な費用に充てるため、都市計画区域のうち、用途地域内に所在する土地および家屋に課す税金です。

入湯税の充当区分 (単位：千円)

項目	決算額	充当額
環境衛生施設の整備	24,247	0
鉱泉源の保護管理施設	0	0
消防施設などの整備	60,609	0
観光施設の整備	0	0
観光振興	24,331	3,084
合計	109,187	3,084

(うち入湯税の充当事業)

倉吉市観光協会補助金	1,922	1,922
とっとり梨の花温泉郷連絡協議会負担金	930	930
観光PR業務委託料	2,000	232

*環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設および消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する税金です。

特別会計決算 (単位：千円)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	5,183,110	5,158,901	5,078,697
介護保険事業	3,896,470	3,922,825	3,774,206
老人保健事業	6,177,759	6,177,757	6,177,757
簡易水道事業	239,892	234,364	234,364
温泉配湯事業	8,966	8,587	8,100
住宅資金貸付事業	117,117	123,316	78,587
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業	5,219	5,216	5,216
土地取得事業	54,000	10,700	10,700
上井羽合線沿道土地区画整理事業	898,516	893,719	868,419
下水道事業	3,614,411	3,576,440	3,574,850
駐車場事業	33,521	32,893	32,893
集落排水事業	728,915	715,050	715,050
高城財産区	4,678	4,685	4,150
小鴨財産区	1,090	1,068	906
北谷財産区	158	158	0
上北条財産区	30,336	30,241	1,056

企業会計決算

水道事業 (単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	974,819	967,528	資本的収入	125,436	123,849
収益的支出	901,236	869,773	資本的支出	468,691	460,017

国民宿舎事業 (単位：千円)

	予算額	決算額		予算額	決算額
収益的収入	289,432	241,187	資本的収入	111,899	111,898
収益的支出	289,170	265,104	資本的支出	51,899	51,898

歳入総額は8億9,372万円、歳出総額は8億6,842万円であり、歳入歳出差引は2,530万円、また翌年度繰越額は2,530万円となりました。
歳入では、一般会計繰入金4,697万円、市債5億7,390万円、繰越金2億5,680万円、歳出では、物件移転

上井羽合線沿道土地区画整理事業

歳入総額は5億6,180万円、歳出では、保険給付費35億4,780万円が主なものです。

介護保険事業

歳入総額は39億2,283万円、歳出総額は37億7,421万円であり、歳入歳出差引は1億4,862万円、また翌年度繰越額は809万円となりました。
歳入では、介護保険料7億2,190万円、国庫支出金9億7,218万円、県支出金5億4,319万円、支払基金交付金11億2,284万円、一般会計繰入金5億6,180万円、歳出では、保険給付費35億4,780万円が主なものです。

集落排水事業

歳入総額、歳出総額とも7億1,505万円となりました。
歳入では、事業費分担金1,621万円、使用料および手数料8,325万円、県支出金9,595万円、一般会計繰入金2億2,608万円、市債2億3,170万円、歳出では、集落排水施設整備工事2億2,700万円、公債費3億6,458万円が主なものです。

下水道事業

歳入総額は35億7,644万円、歳出総額は35億7,485万円であり、歳入歳出差引は159万円、また翌年度繰越額は959万円となりました。
歳入では、事業費負担金9,825万円、使用料および手数料7億5,841万円、国庫支出金1億円、一般会計繰入金12億3,947万円、市債12億7,650万円、歳出では、管渠築造などの工事請負費5億8,352万円、流域下水道維持管理負担金4億4,626万円、公債費20億8,165万円が主なものです。

◎そのほかの特別会計についても、順調に運営しています。